

委員会議事録

1. 病院局関係分

(1) 付託事件審査

①議案第 37 号 平成 27 年度光市病院事業会計補正予算 (第 1 号)

説 明：西村経営企画課長 ～別紙

質 疑：なし

討 論：なし

採 決：全会一致「可決すべきもの」

2. 福祉保健部関係分

(1) 付託事件審査

①議案第32号 平成27年度光市一般会計補正予算（第5号）（福祉保健部所管分）

説 明：杉本福祉総務課長 ～別紙

質 疑

○森戸委員

27ページの保育の特別支援事業の業務効率化推進事業補助金なのですが、これはICT化の推進ということだったんですが、具体的にどのようなものなのかということと、対象はどこまでの何園というんですか、になるのか、その辺のところを教えてください。

○杉岡子ども家庭課長

これは、保育所等における保育士の業務負担を軽減するものでございます。

保育所において書類作成、指導計画書や園児台帳をつくっておりますが、そういったものをICT化することによって保育士さんの業務負担を軽減するというものでございます。

そして、これにつきましては、そういったシステムの改修といいますか、導入経費ということで100万円を限度としまして5園で500万円、そういうことに加えまして、事故防止用のカメラの設置ですが、10万円を限度としまして補助します。これは事故防止による事故の減少も含めてですが、事故予防にも対応するというので4園が実施するというのであります。

○森戸委員

5園というのは、かなりの中から5園が応募されたということなんですか。

○杉岡子ども家庭課長

私立5園のほうから手が挙がりまして、予算要求をしたものでございます。

○木村（則）委員

23ページ、先ほど説明いただいた自立支援給付事業のことなんですけれども、もう少し詳しくその事業の内容について説明いただくと同時に、900万円の増額というのが、理由は先ほど理解いたしましたが、算出の根拠と、これ当初予算に対してどのぐらいの割合でふえているということなんでしょうか。

○杉本福祉総務課長

自立訓練の中の生活訓練になりますが、当初1,500万円から900万円増額の1,950万円です。

当初月平均10人を見込んでいましたが、利用増により月平均17人の見込みとなったものです。

○木村（則）委員

数字は今理解いたしました。その当初予算1,500万円に対して……

○杉本福祉総務課長

訂正します。1,050万円から900万円増の1,950万円です。

○木村（則）委員

当初予算の見込みに対してかなりの割合でふえたということですね。それと先ほどの自立訓練の内容のところをもう少し説明をいただけないでしょうか。

○杉本福祉総務課長

先ほども説明いたしましたが、障害のある人が自立した日常生活または社会生活ができるよう身体機能や生活能力の向上のための訓練や支援を行うサービスでございます。

○木村（則）委員

最後に、こういった場所でこんな訓練するのか。

○杉本福祉総務課長

市内でございましたら、「みなくるはうす光」という事業所で、生活訓練等を行って自立した日常生活ができるよう目指すものでございます。

○森戸委員

今の関連なんですけど、私は、障害を持たれた方が自立のために訓練をされるということは、いいことだと思うんですが、ちなみに、この部分の予算に関しては、上限というんですか、そういうものはあるんですか。使えば使っただけどんどん計上していくのか、その辺の考え方はどうですか。

○杉本福祉総務課長

その障害者の方に合わせた利用日数はありますが、上限自体はありません。

○森戸委員

わかりました。上限はないということで、利用が促進されれば促進されるほど、その都度補正を組むというような考え方でいいですか。

○杉本福祉総務課長

はい。

○森戸委員

わかりました。

○磯部委員

1点だけ確認させていただきます。29ページの中ほどの委託料、予防接種事業、ヒトパピローマウイルス感染症の予防接種費用、これは、いわゆる子宮頸がんの予防接種、これが緊急的に早目に接種とか行われて、いろいろな問題がありまして今に至るといふ状況だとは思いますが、現状を少し、この一千数百万円という、それだけいろんな問題がありましたので、積極的なそういう勧奨はしないという状態のままこの辺も減額になっていると思っておりますけれども、今のこの現状だけお伝えいただけたら助かります。

○柏木健康増進課長

ヒトパピローマウイルス感染症予防接種でございますが、現状、平成25年6月から積極的勧奨差し控えが続いております。先ほど説明にもありましたように、そのために人数でいきますと当初800人を予定していたものを60人と見込み、740人分をマイナスとして今回計上しております。

当初予算には、国の方針変更に対応できるよう確保していたものでございます。

○磯部委員

わかりました。以上です。

○森戸委員

さっきのところに返りますが、ちょっと納得できなかったもので。自立支援の給付事業に関しては、使ったら使った分だけ上限はなしで、どんどんやれというようなことだったんですが、それはそれとして自立のために向かっていくのでいいと思うんですが、しかしながら、事業者側として利益を迫及することになると、どんどん出してしまいます。その辺のところの評価といいます

か、実際に自立にきちんと向かっているのか、その国自体が無駄のないものなのかどうか、その辺のところはどういうふうに評価をされておられるんですか。評価をするのかどうか、その辺も含めてお願いします。

○杉本福祉総務課長

先ほどの上限の件に関しましては、生活等の状況がありますことから、その中で利用日数の上限があるかもしれませんので、確認をさせていただきたいのですが、後ほどでよろしいでしょうか。

○森戸委員

いや、後ほどじゃなくて、今。

・・・・・・・・・・・・・・・・・・休憩・・・・・・・・・・・・・・・・・・

○杉本福祉総務課長

基本的には、生活訓練の利用は原則2年ですが、これにつきましては計画相談員が付きまして、その人に合ったサービスを計画するというので、その人の自由で毎日利用するというものではありません。計画に沿った必要量の調整がありますので、それに基づき、予算措置は対応しているところでございます。

○森戸委員

わかりました、了解しました。

討 論：なし

採 決：全会一致「可決すべきもの」

②議案第35号 平成27年度光市介護保険特別会計補正予算（第4号）

説 明：中邑高齢者支援課長 ～別紙

質 疑：なし

討 論：なし

採 決：全会一致「可決すべきもの」

3. 環境部関係分

(1) 付託事件審査

①議案第32号 平成27年度光市一般会計補正予算（第5号）（環境部所管分）

説 明：山根環境政策課長 ～別紙

質 疑：なし

討 論：なし

採 決：全会一致「可決すべきもの」

②議案第34号 平成27年度光市下水道事業特別会計補正予算（第2号）

説 明：小田環境部次長 ～別紙

質 疑：なし

討 論：なし

採 決：全会一致「可決すべきもの」

4. 建設部関係分

(1) 付託事件審査

①議案第32号 平成27年度光市一般会計補正予算（第5号）（建設部所管分）

説 明：橋本監理課長 ～別紙

質 疑

○森戸委員

1点だけ。ここで聞けるかどうかはわからないんですが、建設部の補正の組み方についてちょっとお尋ねをいたします。

例えばでいいますと、市街化区域内の原材料の支給がございます。別にここで予算が上がっているわけではないんですが、自治会に満額、年額10万円使ったところと、使っていないところというところがあると思います。

で、満額使ったところは、ほかにもやりたいんだというような自治会もあるんじゃないかと思うんですが、そういうところに関して、その上限10万円を超えて回すようなことはできないのか。そういうことを検討したことがあるのかどうか。要は、そういうことで早くすれば顧客満足度といいますか、市民の満足度も高まっていくと思うんですが、そういった検討といいますか、考え方というのはあるのかないのか。その辺のところをお聞かせいただけたらと思います。

○岡田建設部長

現時点では、10万円ということで地元理解を求めているところでございます。検討ということについては、予算の範囲内でどの程度まで補助金が可能かは検討はしているところでございます。

○森戸委員

ぜひ御検討をいただけたらと思います。

以上です。

○加賀美委員

ちょっと1点だけ。37ページの道路建設改良事業がございます。で、今年度実行するものについては、ここに書いてなければ実行すると、年度末までには実行すると、こういうふうと考えてよろしいでしょうか。ここに書いてないものでも、今年度はやらなくてよいものはないと、そういう理解でよろしいです

か。

○酒向施設係長

実行する予定にしております。

以上です。

○加賀美委員

わかりました。それを聞いて安心です。

討 論：なし

採 決：全会一致「可決すべきもの」

5. 経済部関係分

(1) 付託事件審査

①議案第32号 平成27年度光市一般会計補正予算（第5号）（経済部所管分）

説 明：末岡農業耕地課長 ～別紙

質 疑

○森戸委員

2点ほど。33ページの集落基盤整備事業で、国の内示が大幅に減少したということなのですが、国の内示の部分は集落基盤整備事業の総額での部分が減ったのか。それとも、個別案件によって違ってくるのか、その辺のところをお知らせいただけたらと思います。

○末岡農業耕地課長

集落基盤整備事業につきましては、総枠で内示が参ります。

○森戸委員

わかりました。それと、37ページの中小企業等金融対策事業についてお尋ねをいたします。利用が余りありませんでしたから減額しましたということではなくて、なぜ使われなかったのか、その辺はどのように分析をされていらっしゃるのでしょうか。

○小野商工観光課長

預託金等は、既貸付分に、ある程度の新規貸付を予測をして積み上げている部分がございます。我々としても、金融機関に対して利用促進を呼びかけておりますが、結果としてこのような形になったということがございます。

○森戸委員

そういうことを聞いているのではなくて、景気の動向によって左右されたものなのか、制度として使いづらいのか、その辺はどうなんですか。大体毎年減額といいますか、使われにくいような形だと思うんですが、その辺はきちんと分析する必要があるんじゃないですか。1号、2号、3号、4号と融資があると思いますが、それぞれどういうふうに分析されていらっしゃるのでしょうか。

○小野商工観光課長

今、私の方で、そのような分析結果は持ち合わせておりません。

○吉本経済部長

委員さんの言われる御指摘の部分はあろうかと思えます。そういったことで、新年度予算の関係になりますけども、そちらのほうで市の融資制度の見直し、あるいは拡充といったことを御提案をさせていただきたいというふうに思っております。

以上でございます。

○森戸委員

了解しました。額が額だけに、1億4,000万円と超えており、せつかくこれだけの予算を組んでしているわけですから、使われなかったら、これ意味がありませんよね。中小企業の振興のために予算をつくっているわけですから、使われなかったら、なぜ使われなかったのか、その辺をぜひ、よくよく分析をして、丸投げではなくて、よく分析をして予算を組んでいただきたいと思えます。

以上です。

討 論：なし

採 決：全会一致「可決すべきもの」